

みずほCustomer Desk Report 2024/07/16号(As of 2024/07/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	158.23	1.0886	172.08	1.2968	0.6771
SYD-NY High	158.41	1.0922	172.47	1.2995	0.6788
SYD-NY Low	157.17	1.0881	171.60	1.2960	0.6753
NY 5:00 PM	157.96	1.0896	172.32	1.2967	0.6760
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,211.72	210.82	日本2年債	-	-
NASDAQ	18,472.57	74.12	日本10年債	-	-
S&P	5,631.22	15.87	米国2年債	4.4575%	0.0008%
日経平均	-	-	米国5年債	4.1335%	0.0271%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.2304%	0.0446%
シカゴ日経先物	41,135.00	▲ 130.00	独10年債	2.4685%	▲0.0265%
ロンドンFT	8,182.96	▲ 69.95	英10年債	4.1005%	▲0.0065%
DAX	18,590.89	▲ 157.29	豪10年債	4.3410%	▲0.0050%
ハンセン指数	18,015.94	▲ 277.44	USDJPY 1M Vol	9.44%	0.21%
上海総合	2,974.01	2.72	USDJPY 3M Vol	8.89%	0.11%
NY金	2,428.90	8.20	USDJPY 6M Vol	9.08%	0.06%
WTI	81.91	▲ 0.30	USDJPY 1M 25RR	▲1.51%	Yen Call Over
CRB指数	288.39	▲ 2.05	EURJPY 3M Vol	8.30%	0.08%
ドルインデックス	104.19	0.10	EURJPY 6M Vol	8.59%	0.08%

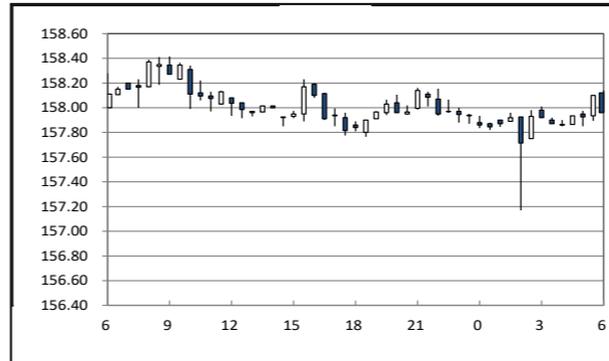
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月15日	11:00	中 GDP(前年比)	2Q 4.7%	5.1%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	6月 5.3%	5.0%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	6月 2.0%	3.4%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	5月 -0.6%	-0.7%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月 -6.6	-7.6
7月16日	01:30	米 パウエルFRB議長 講演	「過去三回のインフレ指標で自信は深まった」	

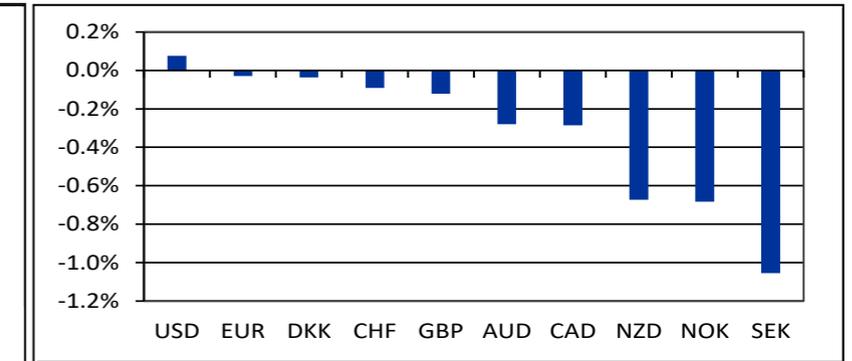
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月16日	18:00	独 ZEW景気期待指数	7月 41.0	47.5
	18:00	独 ZEW調査現状指数	7月 -74.8	-73.8
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	7月 -	51.3
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	6月 -0.3%	0.1%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	6月 0.1%	-0.1%
	21:30	加 CPI(前年比)	6月 2.7%	2.9%
	21:30	加 CPI	6月 161.6	161.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.00-158.50	1.0850-1.0950	171.50-173.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外時間におけるドル/円は、159円台前半から一時157円台前半まで反落する場面も見られるなど下落した。この日発表された米経済指標の結果はまちまちで、米6月PPIは予想比上振れたが、米7月ミシガン大学消費者信頼感指数や期待インフレ率は予想を下回る結果となり、米9月利下げ観測が強まるなどドル売りが継続した。終盤は157円台後半に戻してクローズ。また、ドル売りの流れからユーロ/ドルは堅調に推移した。週明け月曜日のドル/円は、158円前半に戻して推移した後、157円台後半へじりじりと水準を下げる展開。先週金曜日のドル売りを流れを引き継ぎ、ドル/円は上値が重い推移が継続した。NY時間に発表された米7月NY連銀製造業景気指数は予想を上回り一時ドル買いが優勢となるも、パウエルFRB議長がインタビューでインフレ目標の進展を確認した旨発言すると、ドル売りに転じ157円台前半まで反落する場面も見られた。一服後は再び158円付近まで買い戻された。本日のドル/円は、引き続き上値重い推移を予想する。基本的には先週末からのドル売りの流れを引き継ぐ形で日中は動きづら展開となりそう。米国時間には、米6月小売売上高の発表が予定されており、消費の弱さが確認されるとドル売りが更に進むのではないかと考えている。

東京	アジア時間のドル円は158.23レベルでオープン。東京休日で市場参加者が少ない中、閑散としたマーケット。特段新たな材料は無く、朝方小幅に買われた後は先週の介入と思われる動きへの警戒もあってか上値重く、158ちょうどを中心としたレンジ推移。方向感の出ないまま158.17レベルで海外時間へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は158.17レベルでオープン。米金利の低下を背景に一時157円台後半まで下落。その後は動意に欠ける展開が続き、引けにかけて158円台を回復し、158.11レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台半ばでスタート。東京市場が祝日で休場の中、158.41まで上昇する場面もあったが、その後は米金利の低下を受け上値重い推移が続き、158.11レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月ニューヨーク連銀製造業景気指数は予想程悪化しなかったものの、ドル円は反応薄。その後も米金利が低水準で推移する展開を受け、157.80付近まで下落。午後はパウエル議長がイベントにて、「過去3回のインフレ指標で自信は深まった」等とインフレで進展があったとの認識を示し、その後は米金利が一段と低下する動きに伴い、瞬時に157.17まで続落。しかし、その後は具体的な利下げ時期を示さなかった事や、「政策は抑制的なようだが厳しく抑制的ではない」等との発言を受け、158.01まで戻す神経質な展開。その後は158円ちょうど付近を挟んだレンジ推移が続き、157.96レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ/ドルは1.09台前半でスタート。独金利が戻す展開に買いが優勢となり、1.09台に乗せ、1.0906レベルでNYオープン。午前中は米金利の低下が支えとなり、1.0922まで上昇し、約4か月振りの高値を付ける。午後は低下していた米金利が低下幅を縮小させる動きが上値を抑え、小幅反落し、1.0896レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。